

2019年4月8日

課題名：緩和ケア病棟における薬剤の皮下投与の安全性

◆研究の目的と概要◆

終末期の患者は末梢の血管確保が困難であることがあり、そのため薬剤を皮下投与することがあります。しかし、皮下投与が可能な薬剤は少なく、経験的に使用されており、安全性については検討されていません。薬剤の皮下投与の使用状況について調査することにより、終末期患者の治療の安全性を担保することを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2015年4月から、2018年3月までの間に、緩和ケア病棟で皮下注射が行われた方。

◆研究に使用される情報◆

患者背景（年齢、性別）、皮下投与された薬剤、投与期間、熱型表

◆研究方法◆

本研究は、上記情報を電子カルテより抽出・分析を行い、緩和ケア病棟にて皮下注射された薬剤の安全性を確認します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

薬剤部 研究責任者 長尾 由佳

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明